

政策課題研究 4

生物多様性保全・再生に関する研究

生物多様性保全活動の成果を科学的に評価できる手法が十分に確立されていないため、活動の実感を得るための評価に向けた手法研究を行い、改善策へと繋げていくことを目指します。また、滋賀の生物多様性を脅かす喫緊の課題（侵略的外来生物、気候変動等）に対応するとともに、長期的な視点で科学的知見を評価に組み込むための方法と仕組みについて研究を推進します。

<サブテーマ>

- ・ 侵略的外来生物が生物多様性に与える影響
- ・ 気候変動による深湖底希少野生生物の危機に関する研究
- ・ 県内における生物多様性の把握と科学的評価手法の検討
- ・ 社会経済活動における生物多様性保全の順応的な取り組み推進方策の検討

【現状における課題】

<課題>



- 生物多様性の低下
- 侵略的外来生物の拡大
- 地球温暖化による危機 等



【課題解決に向けた対応】

1 オオバナミズキンバイ群落内の湖岸生態系の食物網構造

- ドローンによる植生モニタリング
- 外来植物の繁茂や駆除による生物相の変化

2 深湖底に生息する固有希少種のROV（有索式水中ロボット）、計量魚探モニタリング

- 貧酸素の拡大と固有種の長期変動解析
- 琵琶湖深水層の広域的生物モニタリング



3 滋賀県生きものデータバンクの運用と優先保全地域等の解析

- 滋賀の生物分布データ収集と一元化
- GIS等を活用した優先保全地等の解析

4 生物多様性CSR（企業の社会的責任）活動推進方策の検討

- CSRに関する住民意識調査
- 順応的な取り組みによる効果の検証

- 生物多様性保全・再生活動成果の見える化
- 水辺の生物に関する優先保全地の提示